



カワセミ

本部より

* 7月から活動再開になりました。やっぱりみんなと会えるのが一番良いなあ。などと話されている声を聞くと、当たり前のように早く帰って欲しいと切に願わずにはいられません。毎日感染者の数が増える日々。また自粛生活に入るのではと不安になります。九月から訪問活動が再開するのは無理かもしれませんが、秋の声を聞いたらいつでも伺えるように練習だけはしておきたいと思います。通信では自粛生活の中で何を思われていたのか、何人かの方々にコメントをお願いしていきますので、宜しくお願いいたします。

自粛生活 その1



四か月のステイホーム生活



(綾瀬ボイス 内藤きみ子)

皆様こんにちわ。コロナ外出自粛中は如何お過ごしでしたか？大切な日常が奪われ皆様それぞれ色々な事を経験された事と思います。私の四か月の巣ごもり生活をお話しさせていただきます。最初の一か月は普段出来なかった？と言うよりやらなかった断捨離に没頭し、残りの三か月は何もする気力が無くなり毎日ボートとテレビの前でコロナ感染情報に一喜一憂して、ため息ばかりで気が付けば夜なんて日が経きました。あんなに一生懸命やって来た全ての事が本当に自分に必要だったのか考えるようになりました。そんな日々を過ごしていた中単身赴任している長男から連絡があり、突然携帯電話をビデオに切り替えてと、、、化粧なし、髪ボサボサの私の姿を見て、第一声「ひどい顔して。太ったねえー」と。「出かけないし、気力なし」と言うと、「自堕落な生活をしてるねー」とまたキツイ言葉。と言う訳で翌日早速美容院に。。。。感染が怖くて美容室も行けなかったあ...アーラ不思議 なんか少し元気が出てキター！それからはお風呂に入った時、一人しりとりを100個する事にしました。主人曰く「一人だと同じ言葉言ってもわからないよ」と。でも少し復活の兆しが...。そしておおかたの人がそんな生活をしている事がわかったのが、ある会の方からの一通のメールでした。脳活の滑舌が良いとの話を聞いたので練習法を教えてくださいとのこと。普段ボイスで練習している調音訓練、早口言葉、五十音などがこの様な時に役立つことが出来、今まで練習して来た事は無駄では無かったと実感したひとときでした。家庭内では普段お互い忙しい生活をしてきた夫との間が微妙に崩れ「ハリネズミの夫婦の適度な距離感が外出自粛で乱されている」と朝日新聞の短歌覧に投稿されていましたがまさしくその通りで互いにチクチクと針を出す。アイヤダーこんな生活！！訪問活動は皆様に元気をお届けするだけでなく私自身が活力を頂いていたんだと改めて感じました。一日も早く元の生活に戻り訪問に伺う日が来ることを願っています。

自粛生活で私は、、、

今年は新型コロナウイルスの影響で、長い自粛生活が始まり春を感じられないまま季節が過ぎていきました。色々な活動も出来ず家に籠る時間が多くなりました。

私は家にある材料で手芸をしたり、本を読み返したりと、毎日退屈しないように過ごしてきました。人とあまり話をする事も出来なくなったので、滑舌の練習を兼ねて外郎売の口上を暗誦することにしました。

朝、ラジオ体操の後、大きな声で暗誦します。そして夜、お風呂の中で暗誦し一日が終わります。

今では、頭の中で「ういろう売り」の口上がエンドレスに流れてきます。

まだまだコロナウイルスは収束しませんが、何の心配もなく、訪問活動が出来る日を心待ちにしております。



(綾瀬ボイス 渡辺志津子)

自主活動報告ーたんぽぽ

Y'S ウィンターコンサートに参加して

新型コロナウイルス緊急事態宣言が出る前の2月21日、大和徳洲会病院 Y'S SPACEでのコンサートに初めて参加しました。私たちの他には、ハーブ演奏、ピアノの弾き語りがあり、お客様は30名位でした。リンゴの歌から初め、大正琴の説明、宵待ち草、花は咲く、月光値千金など12曲を演奏し、風雪流れ旅では大きな拍手を頂きました。最後は「ふるさと」を皆様に歌って頂き、小さな会場ならではの心暖まるやさしい演奏会になりました。コロナ禍の終息を願い、ボランティア演奏の一日も早い実現を望んでいる昨今です。

(高野和子)



徳洲会病院での演奏はワンハートでは初めてです。皆さんの心意気感じ入ります



ソーシャルディスタンスをしっかりとってアエイウエオアオー



マスクを着用 入口の扉も開放しての練習です